

きゅんきゅん学校へ行く!!

帯広柏葉高校 編

取材・文／菊地泉美 仙道智美

KYUN KYUN GO TO SCHOOL



地域に医療を、地元医者へ。

「医進類型」を導入

医学部進学を目指し、切磋琢磨

「医進類型」。ちよつと聞きなれない言葉ですが、北海道の教育委員会が医学部進学を志望する高校生を支援する「地域医療を支える人づくりプロジェクト」による取り組みのこと。医学部進学に向けた学習を強力に支援するため、理数教科の少人数指導を行うなどのしくみをいいます。帯広柏葉高校を含む道内9校を「医進類



型指定校」としたもので、帯広柏葉高校も平成20年度から指定を受けています。

それにもない、医学部進学者に向けた医科大学の講師を招いての「メデイカル講座」や、お盆に泊まりがけで勉強をする「メデイカルキャンプ」など、生徒の可能性を引き出せるよう様々な取り組みも行っています。

医学部に進んだ生徒たちが医療の現場で活躍するようになるまでは、およそ10年の年月がかかります。医進類型制度が真価を発揮するのはまさにそのとき。地方の医師不足が深刻化している昨今、地域医療に関心をもち勉勵する若者に期待は高まります。



柏葉塾へようこそ

柏葉塾

同窓会とPTAが共催し、各界で活躍している同窓生に講師となってもらい、様々な分野のお話を通して在校生の人生観・職業観の育成を図るといふ、柏葉高校が独自に行っている事業です。講師としてご参加いただける方がいらっしゃいましたら、柏葉高校までご連絡ください。TEL.0155-23-5897

祝 高校演劇全国大会出場～思いよ届け、声よ響け～HEC (柏葉・演劇・クラブ)

過去の演劇大会で数々の入賞を果たしてきた柏葉高校演劇クラブ(HEC)。実績が評価され、ついに三重県四日市市で開催される全国大会への出場が決まりました。開催されるのは8月、講演時間は1時間ほど。7月上旬、取材で柏葉高校を訪れると2ヶ月後に迫った大会に向け、舞台での練習に集中している生徒たちの姿がありました。授業のある平日で3時間、休日にはなんと8時間もの長時間に渡って練習を続けて来ているそうです。練習を積み重ね、日々演技力を身につけている生徒たち。「見に来てくださる方たちの心を動かすような演技がしたい」。部長としてたくさん部員を束ねている堀さんは、大会に向けての抱負をこんな風に語ってくれました。



取材に応じてくれたのは部長の堀啓子さん。

名物先生 見つけた!

村上修一先生。



「名物先生と言えばあの先生ですね～。教頭先生が迷うことなく推薦してくれたのは村上修一先生でした。柏葉高校に赴任してきてすでに8年目を迎えるという村上先生。目の前に現れたときは一見厳しそうにも見えましたが、口を開くとすぐに親しみやすい人柄が伝わってきました。笑顔がとても素敵で、生徒たちから「村修先生」とニックネームで呼ばれている訳がすぐわかりました。「夢をもって生きなさい」。村上先生から生徒たちへの熱いメッセージです。

好きだから楽しめるし、継続できる

舞台の上での演技をはじめとして、脚本・衣裳・小道具づくり、舞台上のライトの操作など、演劇部員としてやらなければならないことは山のようにあります。演劇部員としての活動は脚本を作るところから始まり、脚本が上がると次に行われるのがオーディションなのだそうです。毎日毎日、長時間続けられている練習にも関わらず、部員の生徒たちの顔に辛そうな表情はなく、伝わってくるのはむしろ真剣さや楽しさばかり。短時間の取材でしたが、心の底から演劇を好きだと感じている部員たちの思いが伝わってきたのがうれしくて、とても印象に残る取材になりました。



今後の大会予定

①全国大会
場所：三重県四日市
日時：7月31日(金)～8月2日(日)

②高校演劇十勝大会
場所：帯広市民文化ホール
日時：9月26日(土)、27日(日)

最後に堀部長から読者の皆様へメッセージ。「時間をかけ、全員で演劇にエネルギーを注いできました。私たちの舞台を見に、ぜひ一度足を運んでください。」